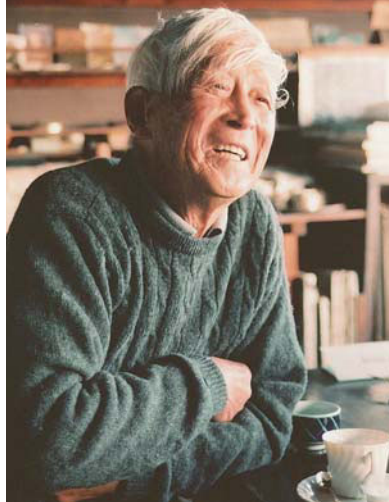


2010.10.1開館 瀬戸内市立美術館



上：牛窓オリーブ園、左：アトリエ「赤屋根」での佐竹画伯（森勝正氏撮影）



佐竹 徳 Satake Toku

明治30（1897）年大阪市生まれ。本名徳次郎。鹿子木孟郎、藤島武二などに学ぶ。大正10（1921）年帝展特選となるなど、若くしてその実力を高く評価される。昭和20（1945）年戦災に遭い、生まれ変わったつもりで画家としての名を『徳』と改める。昭和34（1959）年に初めて牛窓オリーブ園を訪れ、その後、同園を拠点として多くの作品を制作。「オリーブの画家」と称される。日本芸術院賞、岡山県文化賞、三木記念賞、山陽新聞賞などを受賞。日本芸術院会員。牛窓町名誉町民第1号。平成10（1998）年、100歳で逝去。



美術館の窓から見た牛窓の町並みと瀬戸内海

開館記念

佐竹徳展

【前期展】10月1日（金）～11月14日（日）
【後期展】11月16日（火）～12月26日（日）

開館記念として、「佐竹徳展」を開催します。この展覧会では、美術館が収蔵・寄託する佐竹徳画伯の作品を前期と後期に分けて紹介します。

牛窓オリーブ園をモチーフにした大作、牛窓に来訪する前の作品、初公開の作品、珍しいデッサンなど、佐竹徳の世界を満喫することができます。

牛窓の美しい自然に魅せられた佐竹徳画伯の作品を通して、その魅力も再発見してください。

入館料 大人400円、団体（20人以上）300円、中学生以下無料

※10月1日（金）から3日（日）までは開館記念として特別に無料となります。



上：「牛窓オリーブ園」1960年ごろ制作、
下：「オリーブの樹」1986年ごろ制作

記念講演会「佐竹徳と牛窓」

宝木範義氏（明星大学教授）

日時 10月2日（土）午後2時～
場所 牛窓町公民館（美術館東隣）

共催展 瀬戸内市文化協会美術展 「日本のエーゲ海 ―光と風―」

期間 10月1日（金）～11日（月）
会場 ギャラリーS
観覧料 無料



佐竹徳画伯と牛窓

瀬戸内市はこの美術館建設の計画を引き継ぎ、美術館建設準備委員会などで検討を重ね、市ゆかりの作家・作品をあわせて展示することとし、芸術文化拠点・生涯学習拠点、交流拠点・観光拠点という4つの機能を持つ美術館の整備を進めてきました。

アトリエとして使用していた「赤屋根」には、「オリーブの画家」と呼ばれ親しまれた画伯を慕って多くの人が訪ねて来ました。画伯はいつもにこやかに客をもてなしたといえます。時には何も知らない観光客にコーヒーを振舞うこともあったとか。

佐竹徳画伯は、昭和34年、友人の案内で初めて牛窓オリーブ園を訪れました。高台から臨む瀬戸内海とオリーブの青みがかった緑、赤い土は、自身が強い影響を受けたセザンヌの描いた地中海を連想さ

せ、強く心を惹かれました。帰京後もその思いは強く、昭和38年に牛窓に制作の拠点を移しました。その後は、約40年にわたって風景やオリーブの樹などをモチーフに作品の制作を続け、昭和43年に日本芸術院賞を受賞した「オリーブと海（牛窓）」などの代表作が生まれました。